

科目名	財務諸表論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	Financial Statements	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	すずき ひとし	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	鈴木 寿	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	日商簿記検定1級に準拠し、「財務会計」を前提とした『会計学』を学ぶ。極めて高度な商業簿記・会計学を修得します				
到達目標	大学等で専門に学ぶ者に期待するレベル。会計情報の発信者としてだけでなく、会計情報利用者として企業が発した会計情報を読み取る能力が身に付きます				
授業概要	日商簿記検定1級は公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門として位置づけられています。本講義では、日商簿記検定1級に準拠した、財務会計を行う上で守るべきルールについて紹介します。大企業における企業活動のすべての会計処理を、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて理解し行うことができます。				
授業計画					
第1回	会計学総論				
第2回	税効果会計にかかる会計基準				
第3回	金融商品に関する会計基準				
第4回	外貨取引等会計処理基準				
第5回	固定資産の減損に係る会計基準				
第6回	資産除去債務に関する会計基準				
第7回	賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準				
第8回	会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準				
第9回	リース取引に関する会計基準				
第10回	負債の部の引当金の会計基準				
第11回	退職給付に係る会計基準				
第12回	貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準				
第13回	株主資本等変動計算書に関する会計基準				
第14回	1株当たり当期純利益に関する会計基準				
第15回	工事契約に関する会計基準				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	前回までの講義内容を確認の上、毎回講義に臨むこと。(1時間程度) 本学図書館では、日商簿記検定関係図書が充実しており、積極的に活用してください。				
履修条件 受講のルール	日商簿記2級レベルの知識があることを前提に授業を進めます。 適宜資料を配付しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配付しませんので、友人同士でコピーして下さい。				
テキスト	プリント等を配付し、必要に応じ提示する。				
参考文献・資料	「みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商1級 商簿・会計 1,2,3(第8版)」滝澤ななみ TAC出版(2021)				
成績評価の方法	定期試験および外部関係試験結果を含め、総合考慮する ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。				

	・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	授業終了後
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	長年にわたり簿記・会計資格取得のための指導・助言を行っています。近年、簿記検定試験は内容を大幅にリニューアルし、激変する企業会計実務へ対応するための高度な実務的専門能力を求めています。検定問題を通して、現代企業の日々の経営活動・最新の経理会計を紹介していきたいと思います。
学生へのメッセージ	本講義では、多くの日商簿記検定問題を活用して進めていきます。履修した学生諸氏には、積極的に簿記検定を受験し、資格取得を目指してほしいと思います。